

在宅医療における重症度・居住場所に応じた評価

骨子【I-4 (1)】

第1 基本的な考え方

在宅医療では、比較的重症な患者から軽症な患者まで幅広い患者に対して診療が行われていることから、患者の状態や居住場所に応じたきめ細かな評価を実施する。

第2 具体的な内容

1. 特定施設入居時等医学総合管理料について、当該管理料の算定対象となる対象施設を見直すとともに名称の変更を行う。

現 行	改定案
<p>【特定施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>[対象施設]</p> <p>① 養護老人ホーム</p> <p>② 軽費老人ホーム</p> <p>③ 特別養護老人ホーム</p> <p>④ 特定施設</p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p> <p><u>(新設)</u></p>	<p>【施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>[対象施設]</p> <p>① 養護老人ホーム</p> <p>② 軽費老人ホーム</p> <p>③ 特別養護老人ホーム</p> <p>④ 特定施設</p> <p>⑤ <u>有料老人ホーム</u></p> <p>⑥ <u>サービス付き高齢者向け住宅</u></p> <p>⑦ <u>認知症グループホーム</u></p>

2. 在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学総合管理料について、
 - (1) 月1回の訪問診療による管理料を新設
 - (2) 重症度が高い患者をより評価
 - (3) 「同一建物居住者の場合」の評価を、単一建物での診療人数によって細分化

現 行	改定案
<p>【在宅時医学総合管理料、特定施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>在宅時医学総合管理料</p> <p>① 同一建物居住者以外の場合</p> <p>② 同一建物居住者の場合</p> <p>特定施設入居時等医学総合管理料</p> <p>① 同一建物居住者以外の場合</p> <p>② 同一建物居住者の場合</p>	<p>【在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>※ 点数は患者の状態、訪問回数及び居住状況ごとに設定。</p> <p>在宅時医学総合管理料</p> <p><u>1. 別に定める状態の患者に対し、月2回以上訪問診療を実施している場合</u></p> <p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p><u>2. 月2回以上訪問診療を実施している場合</u></p> <p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p><u>3. 月1回訪問診療を実施している場合</u></p> <p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p>施設入居時等医学総合管理料</p> <p><u>1. 別に定める状態の患者に対し、月2回以上訪問診療を実施している場合</u></p>

<p>重症者加算</p> <p style="text-align: right;">1,000点</p> <p><u>(新設)</u></p>	<p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p>2. <u>月2回以上訪問診療を実施している場合</u></p> <p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p>3. <u>月1回訪問診療を実施している場合</u></p> <p>① <u>単一建物診療患者が1人の場合</u></p> <p>② <u>単一建物診療患者が2～9人の場合</u></p> <p>③ <u>①及び②以外の場合</u></p> <p><u>頻回訪問加算</u> <u>600点</u></p> <p>[別に定める状態]</p> <p>在宅時医学総合管理料</p> <p>施設入居時等医学総合管理料</p> <p>1. <u>以下の疾病等に罹患している状態</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>末期の悪性腫瘍、スモン、難病の患者に対する医療等に関する法律に規定する指定難病、後天性免疫不全症候群、脊髄損傷、真皮を超える褥瘡</u></p> <p>2. <u>以下の処置等を実施している状態</u></p>
--	---

	<p>人工呼吸器の使用、気管切開の管理、<u>気管カニューレの使用、ドレーンチューブ又は留置カテーテルの使用、人工肛門・人工膀胱の管理、在宅自己腹膜灌流の実施、在宅血液透析の実施、酸素療法の実施、在宅中心静脈栄養法の実施、在宅成分栄養経管栄養法の実施、在宅自己導尿の実施、植え込み型脳・脊髄電気刺激装置による疼痛管理、携帯型精密輸液ポンプによるプロスタグランジンI₂製剤の投与</u></p>
--	---

3. 在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学総合管理料における「同一建物居住者」の名称及び定義を見直す。

現 行	改定案
<p>【在宅時医学総合管理料、特定施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>[同一建物居住者]</p> <p>当該建築物に居住する複数の者に対して、保険医療機関の保険医が同一日に訪問診療を行う場合を「同一建物居住者の場合」という。</p>	<p>【在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料】</p> <p>[<u>単一建物診療患者の人数</u>]</p> <p><u>当該建築物に居住する者のうち、当該保険医療機関が訪問診療を実施し、医学管理を行っている者の数を「単一建物診療患者の人数」という。</u></p> <p>ただし、在宅時医学総合管理料に限り、保険医療機関が医学管理を行う患者数が当該建築物の戸数の10%以下の場合には単一建物診療患者が1人であるものとみなす。</p>

4. 在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学総合管理料の見直し

に伴い、在宅患者訪問診療料の評価の見直しを行う。

【在宅患者訪問診療料】	【在宅患者訪問診療料】
在宅患者訪問診療料	在宅患者訪問診療料
1 同一建物居住者以外の場合 833点	1 同一建物居住者以外の場合 833点
2 同一建物居住者の場合	2 同一建物居住者の場合 203点(新)
イ 特定施設等に入居する者の 場合 203点	<u>(削除)</u>
ロ イ以外の場合 103点	<u>(削除)</u>

5. 在宅医療において注射用脂肪乳剤が使用されている実態を踏まえ、保険医療機関の医師が処方できる注射薬及び医師の処方せんに基づき保険薬局で交付できる注射薬に追加する。